



NMIJ計測クラブ 平成30年度

CMMユーザーズクラブ講演会

三次元測定機は便利な装置であり、何でも測定できるという感覚を持ってしまいがちです。ただしその使い方にはノウハウやコツが必要で、その性能を使い切っているとはいえません。また測定値の信頼性がどの程度なのかを知ることなく、測定機から算出された値はすべて精密と考えて使用されているユーザも少なくないようです。こうしたCMMユーザの不安と疑問に応えるCMMユーザーズクラブの会合を開催します。

日時 : 平成31年3月1日(金) 14:00~16:00

会場 : (国研)産業技術総合研究所

臨海副都心センター 第2会議室

https://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html

参加費 : 無料

- 14:00~14:30 講演「機械部品の幾何特性の適正評価のために
.....三次元座標測定システムの活用.....」

CDT研究所 中村 哲夫

計測の現場においてCMMを適切に活用するにはいくつかのポイントがあります。その中でも、現実の企業で問題になっている★データムとデータム系の構築, ★部品形体の幾何偏差・幾何公差域の基本と測定評価について、具体的に説明いたします。

- 14:30~15:00 講演「CMMを取り巻く最近の状況」

株式会社東京精密 丸山 聡

CMMを取り巻く環境も日々変化しています。本講演では、最新の技術動向, CMMユーザーに関連する規格, 測定における不確かさと適合判定など幅広く講演いただきます。

15:00~15:10 休憩

- 15:10~15:35 講演「—CMMの都市伝説—太ったり痩せたりするの」

産業技術総合研究所 鍛島 麻理子

CMMでの測定には様々なノウハウや都市伝説があります。それらについて実際に検証を行った「CMMの教科書」シリーズ。今回は、画像測定機での測定における光量がテーマです。測定条件によって結果にどのような影響があるかを解説します。

- 15:35~16:00 講演「3D3プロジェクトより話題提供」

講演者調整中

世の中には3Dプリンタでの造形品が増えてきましたが、それを実際に測ろうとするといろいろと難しいもの。座標測定機と3Dプリンタの連携をテーマとした「3D3プロジェクト」での実例共に3Dプリンタ造形品の測定についてのポイントを紹介いたします。

申し込み・問い合わせ先

産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 幾何標準研究グループ (担当:阿部)

Tel:029-861-4041, Fax:029-861-4049, e-mail:cmm-ml@aist.go.jp

申し込みは、住所、氏名、所属団体、電話番号を添えてe-mailで。